

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -



吉岡千尋「griglie」 - 開廊20周年記念展 Vol. 6

Chihiro Yoshioka: griglie - ACG 20th Anniversary Vol. 6



この度、アートコートギャラリーでは吉岡千尋の個展を開催します。展覧会名「griglie」は、イタリア語で「格子」、「グリッド」を意味する「griglia」の複数形表現です。

庭先に咲く薔薇や青空に映える紅葉、アイコンの聖人が纏う衣装など、吉岡は日常や旅先で出会った事物や光景を、グリッドを引いた画面に「写し描く」という姿勢で絵画を制作しています。その過程で浮かび上がる現実と認識のズレや記憶の空白を省略や補足といった控えめな筆の身振りに置き換え、あるいは、幾種類もの同系色の顔料を用いて記憶の中に漂う色を探るとき、吉岡の絵画制作の主題となっているのは、彼女と対象の間に結ばれる親密でありながら埋まることのない距離、掴み切れない空間そのものだと言えます。

実体とイメージ、作家が感知した両者の差異に息づく「伝わらなさ」は、グリッド上に丁寧に重ねた色彩と繊細なタッチ、さらには、イリュージョンと平面性、地と図、時間性といった絵画をめぐるさまざまな問題によって多層的に包まれて鑑賞者へと差し出され、彼／彼女らの想像力によって補われることで、より豊かなイメージとなって漂い続けます。

「正面に見えるこちらと同じものが、全く一緒というわけではなく、少しズレて存在する。」¹

ものを見る時、絵を描く時、こうした存在のあり様に魅かれるという吉岡にとって、グリッドは、「写し描く」行為においてイメージの全体像と「ズレ」を共存させながら、対象と画面と自らの距離を一定に保つための基準線であり、絵画の存在を可能にしながらそれ自身は姿の見えない透明な被膜に鑑賞者の意識を繋ぎ止める方途でもあります。

2017年以来6年ぶりの個展となる本展では、吉岡の絵画の拠り所であり続けてきた「グリッド」に改めて焦点を当てるとともに、「色」という不確かな存在を具現化・共有することを目指して、長年継続している〈sub rosa〉シリーズに加え、檸檬や石畳など新たなモチーフによる新作群をご紹介します

1. 吉岡千尋「エッセイ」『吉岡千尋 ミメーシス』アートコートギャラリー、2018年、p.49

[左] 〈lemon〉シリーズより 顔料、漆喰、モルタル、寒冷紗、パネル(ストラップ技法)、各33.3 x 22 cm、2023年 | 撮影: 表恒匡
[右] 《griglie 6》(部分) 油彩、金属粉、テンペラ、白亜地、キャンバス、162.2 x 194.2 cm、2023年

【展覧会概要】

展覧会名: 吉岡千尋「griglie」 - 開廊20周年記念展 Vol. 6 Chihiro Yoshioka: griglie - ACG 20th Anniversary Vol. 6

会期: 2023年 11月11日 [土] - 12月16日 [土] *休廊: 日・月・祝

会場: アートコートギャラリー 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間: 11:00-18:00 [土曜日-17:00]

主催: アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) | 協賛: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

◆ 関連イベント: 11月25日 [土]

14:00-15:30 対談【小林 公(兵庫県立美術館学芸員) × 吉岡千尋】

15:30-17:00 レセプション

*対談は要予約・先着20名 | お申込みはアートコートギャラリー (Email: info@artcourtgallery.com / Tel. 06-6354-5444) まで。

【お問い合わせ】 アートコートギャラリー [担当: 清澤・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -

吉岡千尋「griglie」- 開廊20周年記念展 Vol. 6

Chihiro Yoshioka: griglie - ACG 20th Anniversary Vol. 6



◆ 作家ステイトメント

グレープフルーツ、レモン、葡萄。

果物の絵画的効果を考えてみようとしてカーテンを開けて机に果物を置き、水彩絵の具で描きはじめた。

例えばマネの画集においてそれらの果物は、画中右下あたりに配置されていることが多い。

グレープフルーツは、転がりながら床の存在を暗示している。

そして、もう落ちると思えるナイフと一緒に置かれたレモンや柵の傍らに置かれた葡萄は、鑑賞者の空間認識をいっそう迷わせる。

そして私は、「…見れば見るほど、描けない」

食べられるうちに手に取ってしまう。

こんな風に何も描き出せないまま、いくつか味の鈍くなった果物を食べた。

最後に半分に切った果物の断面は、川岸の光に照らされていた。

とても美しい断面だと思ったが記憶に留めて食べることにし、もう描くことはやめた。

山からの光線を遮った作業室の中で、レモンと10種類の黄色系顔料を用意してフレスコ画に取り組んだ。

レモンを黄色で描いては剥ぎ取り、顔料を混ぜたモルタルの上に重ねて貼り込んだ。

撮影のために12枚を格子状に展示して眺めると、個別では見えなかった、新しい全体像が浮かび上がってきた。

制作にグリッドを取り入れるようになってから、選んだ風景や物は全体像を保持したままパズルのピースのように分割される。

パズルだと気になるが、絵では描かずに消した部分や入れ替えた部分があることを許容している。

全体像を保持したままということが重要で、人が一瞬で認知できる全体の在り様に関心がある。

今回の個展では補完して見られることを期待して、全体像を保てる境界を模索する。

吉岡千尋



◇ 出展予定作品

〈lemon〉シリーズより

顔料、漆喰、モルタル、寒冷紗、パネル(ストラッポ技法) | 各33.3 x 22 cm | 2023年

《sub rosa 18》

油彩、金属粉、白亜地、キャンバス | 27.5 x 19 cm | 2022年

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 清澤・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -



吉岡千尋「griglie」- 開廊20周年記念展 Vol. 6

Chihiro Yoshioka: griglie - ACG 20th Anniversary Vol. 6

◆ 吉岡千尋 Chihiro Yoshioka

- 1981 京都府生まれ
 2004 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業
 2006 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻油画修了

主な個展

- 2021 mimesis(カモガワアーツ&キッチン、京都)
 2019 生きた建築ミュージアムフェスティバル 2019×まちと生きる現代アート(安井建築設計事務所、大阪)
 2018 吉岡千尋 at ART OSAKA 2018 [アートコートギャラリー](ホテルグランヴィア大阪)
 2017 mimesis(アートスペース虹、京都) ['16, '14, '13, '10]
 sub rosa(アートコートギャラリー、大阪)
 2012 skannata(アートコートギャラリー、大阪)
 2008 吉岡千尋展(O ギャラリーeyes、大阪) ['07]
 2007 吉岡千尋展(O ギャラリーup,s、東京)

主なグループ展

- 2023 川田知志・児玉靖枝・高木智子・中里齊・牡丹靖佳・水田寛・吉岡千尋 他 - 開廊20周年記念展 Vol. 4 (アートコートギャラリー、大阪)
 One Art Project: Transverse(Art Space & Cafe Barrack、瀬戸)
 2021 余の光 -Light of My World-(旧銀鈴ビル、福知山、京都)
 闇をまなざし、光にふれる。(アートコートギャラリー、大阪)
 2020 横田学 京都市立芸術大学退任記念展「つなぐ・つながる」(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、京都)
 2019 KYOTO OPEN STUDIO×10(ウズイチスタジオ、京都)
 2018 15年(アートコートギャラリー、大阪)
 2017 非在の庭 最終章(アートスペース虹、京都)
 FACE展 2017 損保ジャパン日本興亜美術賞展(東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、東京)
 heART~春和景明~(インターコンチネンタルホテル大阪 20Fロビー)
 2015 麝香の匂い | Smell of Musk(TALION GALLERY、東京)
 琳派400年記念 新鋭選抜展 ~琳派の伝統から、RIMPAの創造へ~(京都文化博物館)
 2014 ACG eyes 6: 吉岡千尋、宮田雪乃、笠間弥路 -二次元地層学(アートコートギャラリー、大阪)
 京都府美術工芸新鋭展 ~京都国際現代芸術祭2015への道~(京都文化博物館)〈京都新聞社賞〉
 2013 2013 TSCA Rough Consensus 展(ホテルアンテルーム京都)
 KYOTO STUDIO(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、京都)
 2009 VOCA展 2009 現代美術の展望 -新しい平面の作家たち(上野の森美術館、東京)
 2005 京展2005(京都市美術館)

レジデンス

- 2011-2012 境谷小レジデンス(京都市立境谷小学校)

主なコレクション・設置場所

パークハイアット京都/ザ・プリンスギャラリー東京紀尾井町/安井建築設計事務所 本社・大阪事務所/京都第二赤十字病院/
 社会医療法人孝仁会北海道大野記念病院/京都銀行/京都市立芸術大学芸術資料館



吉岡千尋「sub rosa」アートコートギャラリー、大阪 | 2017年 | 撮影: 表恒匡



「闇をまなざし、光にふれる。」アートコートギャラリー、大阪 | 2021年 | 撮影: 来田猛

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 清澤・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com